5/9赤旗

9条改憲発言

首相が答弁拒否

真意「読売新聞読め」

安倍晋三首相は8日の衆院予算委員会で、憲法9条に自衛隊を明記すると表明した真意について追及を受けたのに対し、「自民党総裁としての考え方はそこで知っていただきたい」と言って答弁を拒否し、議会制民主主義の軽視も極まる姿勢をあらわにしました。民進党の長妻昭議員への答弁。

首相は、3日に開かれた改憲派の憲法討論会に自民党総裁として寄せたビデオメッセージと、「読売」の首相インタビューで、20年施行に向けて9条の1項、2項は残した上で「自衛隊の記述を書き加える」と表明しています。

これについて安倍首相は、9条2項を削除し「国防軍」創設を明記した「自民党改憲案」を取り消すのかなどとただした長妻議員に対し、「自民党総裁として立っているのではなく、内閣総理大臣としての責任における答弁に限定をさせていただいている」と都合よく立場を使い分け、まともに答弁しませんでした。

その一方で、安倍首相は、ビデオメッセージと「読売」での改憲表明は「自民党総裁として責任をともなうリーダーシップとして申し上げている」と述べ、国会に対し、憲法審査会での改憲議論を加速させるよう圧力をかけました。